

# 専念寺通信

8月号 (NO.168) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

梅雨明け宣言が出されたとたん猛烈な暑さが始まりました。午前中に30度を超えることも珍しくありません。雨が降ると懐かしい「夕立」どころではない凄い驟雨で、傘があってもずぶ濡れになる、そんな亜熱帯のような気候の8月です。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。『通信』も168号になりました。

## ☆終戦記念日をむかえて

8月15日は終戦記念日です。1945年のこの日に、日本は敗戦を認め、天皇がラジオを通じてそれを宣言しました。この少し前に広島、長崎に原子爆弾が投下され、日本は壊滅的な被害を受けました。沖縄では一般市民の多くが戦闘によって、

或いは別の理由で亡くなりました。本土決戦、を迎えずして日本は戦争を終了しました。それから70年近くたちました。日本はこの間、自国を守るための「自衛隊」を持ちはしましたが、一度も戦争に参加せず、一度も人を殺していません。2度の大战によって学んだ智慧を私たちに身体化して、経済が発展しようと、経済が行きづまろうと、他国を攻撃することをもって国家の利とする、という手段を自ら禁じたのです。これが憲法第九条の「戦争放棄」です。大国の、ちからまかせの小国への侵略、これの片棒をかつぐことも



拒否してきました。この「九条」がそれを可能にしました。私たちはこの「戦わない」いわば非戦の誓いをもう一度思い出さなくてはならない時期に来ているようです。大地震後の、原子力

発電所事故のあと始末が、全く先の見えぬままで、原子炉を冷やし続けることによって出る「汚染水」の置き場所が半永久的に増えていくままで、地震の多いこの国で、被災した人(それは明日の私かもしれません。あなたかもしれません)のその後のケアが遅れたままで、「もっと原子力発電所を作る」と国の偉い人は言っています。そして、自国を守るためではない場面にも、場所にも、自衛隊は武器を持って出ていけるようにするのだ、と言っています。なぜですか。国を守る、とはなんですか？国民を守る、とはなんですか？震災でこんなにも大きな被害を出し、まだ出し続けている(震災後の死者は増え続けています)この国で、最初にするべきことは、そして継続的にすることは、原発をさらに作ることですか？憲法九条を拡大解釈して、戦争できる国にすることですか？ふと感じた素朴な疑問を忘れずにいましょう。かつて戦争に参加した人は、戦闘員もその家族もみな「戦争はこりごりだ！」と言っています。私たちは、殺し殺されるために生まれてきたものではありません。人の命を大切に思う思いを、あきらめることなく持ち続けましょう。写真は中庭の

冬珊瑚の青い実と熟した実、そしてホテイアオイです。猛暑の日々、みなさまどうかくれぐれもご自愛ください。

平成26年8月1日

大黒

